

春を感じよう

まだまだ寒い日が続きますが、暦の上ではもう春です。先週の金曜日、2月4日は「立春」でした。暦の上で1年を四季に分け、そのはじめを立春、次を立夏、そして立秋、立冬に分けています。そう、日本には4つの季節、四季があるのです。

さて、皆さんはどんなことで春を感じますか。

まず肌で感じることができます。なんとなく暖かくなってきた、風が優しくなってきた。こんなことで春を感じることができます。

そして、耳で感じることもできます。今までに聞くことができなかった鳥のさえずりや、爽やかな風の音。

また、鼻で感じることもできます。春に咲く花の匂い、新しく芽吹く葉の匂いも感じるができるかもしれません。

口でも春を感じることができます。春の味覚、ふきのとうのてんぷらや菜の花のおひたし等。

そしてもちろん、目で春に気付くこともあります。新緑の葉の色は若くてすがすがしい薄い緑色です。そして、暖かくなって土の中から出てくる虫に気が付く人もいるでしょう。

校庭を1周すると、また代々木公園や明治神宮などいろいろなところで春を感じることができます。水仙の花が可愛らしく咲いていますね。モクレンの木の枝にもたくさんの蕾がついています。桜の木もたくさんの蕾が少しずつ大きくなっています。

この季節の言葉に「春となり」があります。「春となり、雪が解けて…」なんて使いますが、まだ、春にはなっていません。「春となり」を「春隣」と書いて、冬の季節の言葉として用いられます。「春が隣に来ています。」そんな意味でしょうか。「春隣」この言葉を覚えてください。そして冬から春へ、この季節の移り変わりを楽しんでください。